

認可申請中

# 2025年度 入試ガイド

(大阪府指定医療枠特別選抜)  
医学部医学科



選抜の詳細は「学生募集要項（大阪府指定医療枠特別選抜）」（2024年9月公表予定）を確認してください。入試ガイドで公表した内容に変更が生じる場合も以下のWebサイトで公表しますので、随時ご確認ください。

○大阪公立大学 入試情報サイト  
<https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/>



2024年8月  
大阪公立大学

※ 大阪府指定医療枠特別選抜については、医学部医学科臨時定員増の認可申請中であり、今後変更の可能性がります。

## 目 次

大阪公立大学の3つのポリシー.....	1
〔1〕 募集人員.....	2
〔2〕 出願資格・出願要件等	
1 出願資格.....	3
2 出願要件.....	3
3 大阪府指定医療枠について.....	3
〔3〕 出願手続（インターネット出願）	
1 出願期間.....	4
2 出願書類等.....	4
3 出願についての注意.....	5
4 受験上・修学上の配慮について.....	5
〔4〕 入学者選抜方法等	
選抜方法等.....	5
〔5〕 選抜期日等（試験科目・時間割、試験会場）.....	7
〔6〕 2025年度入試（特別選抜）における旧教育課程履修者の経過措置について.....	8
〔7〕 合格者発表	
1 第1次選考合格者発表について（第1次選考を実施する場合のみ）.....	9
2 第2次選考合格者発表について.....	9
〔8〕 入学検定料及び学費（入学金・授業料）	
1 入学検定料.....	9
2 入学金.....	9
3 授業料.....	9
4 その他.....	9
〔9〕 その他	
1 個人情報の取扱いについて.....	10
試験会場交通アクセス.....	11
問合せ先	

## 大阪公立大学の3つのポリシー

### 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大阪公立大学では、学士課程教育を通して、現代人として必要な教養を修得し、国際感覚の錬磨によって幅広い視野に立ち、自主的・総合的な判断力、問題解決能力、及び豊かな人間性と社会に積極的に参加する市民的公共性を身に付け、生涯にわたり継続的・発展的に学び成長できる人材を育成する。

このため、学士課程では、各学部等のカリキュラム・ポリシーに準じたカリキュラムを全学共通教育としての「基幹教育」と「専門教育」の2つに区分する。基幹教育は、その企画・運営組織として「国際基幹教育機構」を設置し、外国語の運用能力を含めた国際的なコミュニケーション能力、幅広い視野に立つ自主的、総合的な判断力と問題発見・解決能力を養い、継続的、発展的な学修を支えるためのコアを形成することを目指すとともに、Society 5.0時代などに求められる人材や高等教育の目指すべき姿など大学への社会的要請を踏まえ幅広い知識の獲得を目指す。専門教育では、さらに専門領域の基礎的知識に加え、実践的態度、倫理的態度、創造的な感性や知性という広義の教養を備え、卒業後も学び続ける姿勢を身に付けることができるように高度で専門的な内容を修得することを目指す。各学部等の教育課程では、基幹教育と専門教育を通じて必要な知識・技能・態度・能力等を獲得し、これらを活用し、社会変化に対応できる人材となることを目指す。

全ての学生が（知識・理解）、（技能）、（態度・志向性）、（統合的な学修経験と創造的思考力）の領域で、下記の具体的な学修成果を上げることを目指す。

#### 学士課程で目指す学修成果

##### （知識・理解）

- 多様性について学び、他文化・異文化に関する知識を尊重・理解することができる。
- 人間と言語・文化、科学と技術、社会と歴史、環境と健康・スポーツについて尊重し、理解を深めることができる。
- それぞれの専門領域の知識と技術を体系的に学び、応用できる。

##### （技能）

- 日本語や外国語を用い、それぞれに求められる水準で受信、発信、やりとり、仲介を行うことができる。
- 自然や社会現象について数学・統計を用いて分析し、意思決定に活用できる。
- 情報通信技術（ICT）などを用いて多様な情報を収集・分析して適切に判断し、モラルに則って効果的に活用することができる。
- 情報や知識の複眼的、論理的分析に基づき、批判的思考（クリティカル・シンキング）をし、更に表現することができる。
- 問題を発見するスキルや、解決に必要な情報を収集・分析・整理するスキルを獲得し、その問題の解決に向かうことのできる実践力を身に付ける。

##### （態度・志向性）

- 自分で考え、良心に従い、社会のルールを尊重して自分の責任で判断し行動できる。
- 他者と協調して行動でき、また、必要に応じて他者に方向性を示し、リーダーシップをとることができる。
- 地域をはじめとする社会の一員としての意識を持ち、社会の発展のために積極的に関与できる。
- 自ら学ぶ姿勢を身に付け、生涯にわたって進んで学修できる。

##### （統合的な学修経験と創造的思考力）

- これまでに獲得した知識・技能・実践力等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決することができる。

### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

大阪公立大学における学士課程教育では、専門分野を学ぶための基礎教育や学問分野の枠を越えた普遍的・基礎的な能力の養成にあると考え、専門分野の学修を通じて学生が知識の獲得だけではなく、前述の「学士課程で目指す学修成果」を達成しているかなど、社会が求める人材養成にも配慮した教育課程編成を行う。

授業科目は、基幹教育科目及び専門科目により構成する。基幹教育科目は主に1年次・2年次において学び、専門科目は2年次以降に学ぶことにより、有機的・体系的な編成を行う。基幹教育科目は以下の方針で編成している。

- 学生として自ら学ぶ姿勢を身に付け、アカデミックスキルの基礎を身に付けるため、1年前期必修科目として「初年次ゼミナール」を導入する。
- 学生の視点に立った学修の系統性や順次性を重視し、各々のカリキュラムの中で中核となる科目を必修

科目と位置づけ、学生にとって履修計画が立てやすいものとする。

- 基幹教育と専門教育との接続性を重視し、学士課程全体を通して学修成果が達成できるカリキュラムを構築する。
- 全学的な協力体制の下で、複数の専門分野にまたがる横断的な科目の配置、全学の学生が目指すべき進路や興味関心に応じて自由に選択・履修できる「副専攻」の設置など、学域・学部の枠を越えて幅広く学ぶことができる教育課程の編成を行う。
- 学期は、1年を前期・後期の2学期制とし、15週の授業期間と試験期間を設ける。

また大阪公立大学は、学生の学修成果を適切に把握するため、教育推進本部が定める「大阪公立大学における教育の内部質保証に関する方針」のもと、基幹教育科目と専門教育科目をそれぞれ提供する国際基幹教育機構と各学部（学域）においてアセスメントポリシーとアセスメントリストを定め、複数の評価指標・方法を用いて定期的に学修成果の評価を行う。また、国際基幹教育機構と各学部（学域）において、科目の到達目標の達成状況を基準にした成績評価ガイドラインを定め、各科目における成績評価を実施する。科目の到達目標および評価方法・評価基準はシラバスに明記する。

### 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

大阪公立大学は、学士課程を通して、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、人間性豊かで、多様な関心、柔軟な思考力を持ち、科学・産業・文化・社会の発展や持続可能社会の実現に寄与しようとする志を持つ、向学心旺盛で優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れる。

そのために、本学の学士課程では以下の方針に基づいて、学生の多様な能力を評価するための入学者選抜を実施する。従って、この方針をよく理解したうえで、高等学校までの学びを深め、広めることを期待する。

- (1) 高等学校教育段階において目指す学力の3要素を確認する。
- (2) 本学の基幹教育に十分に対応できる準備性を備えていることを確認する。
- (3) 学域や各学部のアドミッション・ポリシーに示す資質を備えていることを確認する。

### 求める学生像

#### 医学科

医学科のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーの基礎となっている、「智・仁・勇」の三つの基本理念を理解する素地を有する下記の学生を求めている。

- ・ 智は医学を推進する旺盛な向学心と知識を意味し、これらを有している人
- ・ 仁は人への博愛の心を意味し、人を包みこむ広い心を有している人
- ・ 勇は医療を実践する決断の勇気を意味し、積極的な行動を起こせる人

これらの基本理念を有し、自ら学習課題を設定し、その課題に向かって勉学に励める人の入学を希望する。

※医学部の詳細（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー）は、以下を参照してください。

<https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/>



### 入学者選抜の基本方針

【大阪府指定医療枠特別選抜】

#### 医学科

大阪府指定医療枠への入学を希望する人を対象に行う。出身高等学校長の推薦を受けた人に対し、出願書類・面接・小論文等で将来、大阪府の地域医療に貢献しようとする志と「智・仁・勇」の基本理念を有する医師・医学研究者となりうる資質について確認する。

## 〔1〕募集人員

選 抜 種 別	募 集 人 員	備 考
大阪府指定医療枠特別選抜	2名	卒業後のキャリア形成プログラム（必修）あり

（注）大阪府指定医療枠特別選抜は、出願要件に地域等の制限はありません。

また、選抜の結果により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。その欠員数は、一般選抜（前期日程）大阪府指定医療枠の募集人員に加えます。

**募集方法の注意事項**

- ・大阪府指定医療枠特別選抜は、志願者数が募集人員の**5倍**を超えた場合、第1次選考を実施します。その場合、出願書類（配点100点）と大学入学共通テスト（配点825点）の総合得点により第1次選考を実施し、その合格者のみが本学の個別学力検査等を受験することができます。第1次選考実施の有無については、2024年11月下旬に本学Webサイトにて発表します。志願者数が募集人員の**5倍を超えなかった場合は、志願者全員に小論文試験・面接を実施します。**

**〔2〕出願資格・出願要件等** 旧教育課程履修者の経過措置について、8～9ページに記載があります。

## 1 出願資格

- (1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。
- ① 高等学校等（注）を2023年4月以降に卒業した者及び2025年3月に卒業見込みの者又は通常の課程による12年の学校教育を2023年4月1日以降に修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者
  - ② 卒業後の所定のプログラムにもとづく地域医療に従事することを確約できる者で「大阪府地域医療確保修学資金」の貸与を受ける意志のある者  
（注）入学後および卒業後の所定のプログラムについては「3 大阪府指定医療枠について（3ページ）」を確認してください。

## 2 出願要件

- (1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。
- ① 調査書の全体の学習成績の状況が4.3（5点満点）以上の者
  - ② 出身学校長が責任をもって推薦できる者
  - ③ 本学の指定する令和7（2025）年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者
  - ④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
- (2) 学業のみならず、課外活動において優れた成績あるいは実績を有する者が望ましいが、必ずしも満たしている必要はありません。
- (3) 各高等学校等で推薦できる人数は、1名以内とします。

※大阪府指定医療枠特別選抜は、出願要件に地域等の制限はありません。

- (注) 高等学校等は、下記に該当する教育機関をいいます。
- ・高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）
  - ・学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第2号から第4号及び第7号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者が在籍する教育機関
- ただし、同条第7号「大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの（2025年3月31日までに18歳に達するものを含む。）」により出願する場合は、事前に資格審査を行います。出願資格審査は2024年10月7日（月）までに書類の提出が必要となりますので、裏表紙「入試に関すること」の問合せ先に申し出てください。

## 3 大阪府指定医療枠について

大阪府指定医療枠の入学後及び卒業後の所定のプログラムは以下の通りです。

- (1) 入学後の医学科教育カリキュラムは一般選抜（前期日程）一般枠と同様ですが、それに加え、大阪府が主催する実習プログラム等（卒前支援プラン）への参加が義務付けられます。
- (2) 大阪府から地域医療の確保のための修学資金が貸与されます（月額10万円）。
- (3) 卒業後のキャリア形成プログラム（必修）の対象となります。
- (4) 医師免許取得後、直ちに、大阪府内に所在する基幹型臨床研修病院において、初期臨床研修を行うこととなります。
- (5) 卒後9年間（初期臨床研修期間を含む）、大阪府内の医療機関（大阪府が指定する病院又は診療所）に勤務し、うち4年間以上（初期臨床研修期間を含めない）は、大阪府が定める医師が不足する地域に所在する医療機関に勤務することとなります。
- (6) 初期臨床研修修了後、いずれかのコースの適用を受け、5年間以上、指定診療業務（臨床研修の修了までに大阪府が指定する診療業務）に従事することとなります。指定診療業務は、次の①～⑤のいずれかの診療業務とします（ただし、今後の医療環境の変化に伴い、指定診療業務の追加及び各項に該当する医療機関の変更を行う場合があります）。

## ①周産期コース

総合周産期母子医療センターに指定された医療機関又は地域周産期母子医療センターに認定された医療機関における産婦人科・産科・小児科（新生児診療業務に限る）・新生児科・小児外科・新生児外科における診療業務

## ②小児医療コース

小児中核病院又は小児地域医療センターに指定された医療機関における小児科・新生児科・小児外科・新生児外科における診療業務（ただし、少なくとも3年間は小児地域医療センターにおいて指定診療業務に従事すること。）

## ③救急医療コース

救命救急センターにおける診療業務

## ④総合診療コース

総合診療専門研修、新家庭医療専門研修及び病院総合診療専門研修の基幹施設に指定された医療機関における総合診療業務

## ⑤感染症コース

総合診療と内科専門研修のダブルボードが可能な基幹施設に指定された医療機関における総合診療と内科における診療業務並びに感染症学会認定病院及び第二種感染症指定医療機関における感染症診療業務

なお、大阪府地域医療確保修学資金等貸与要綱に基づき、本学を卒業した後、1年6月以内に医師免許を取得し、上記のとおり9年間（修学資金の貸与を受けた期間の1.5倍の期間）診療に従事した場合、借り受けた修学資金及び利息の返還が免除されます。

<修学資金等貸与制度に関する問合せ先>

大阪府健康医療部保健医療室医療対策課医療人材確保グループ  
〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目 電話 06-6944-6692  
<https://www.pref.osaka.lg.jp/iryo/isikakuho/tiikiwaku.html>

## 〔3〕出願手続（インターネット出願）

大阪府指定医療枠特別選抜の出願手続はインターネット出願により行います。

**※インターネットの出願登録と入学検定料等の支払いだけでは出願手続完了にはなりません。  
出願書類を郵送（郵送提出期間内必着）する必要があります。**

## 1 出願期間

インターネット出願登録開始日時	出願書類の郵送提出期間
2024年10月25日（金）10:00	2024年11月1日（金） ～2024年11月6日（水） <b>【簡易書留郵便（速達可）にて必着】</b>

## 2 出願書類等

- ・出願確認票（大学提出用）
- ・令和7（2025）年度大学入学共通テスト成績請求票
- ・写真票及び縦4cm×横3cmの写真1枚（本学所定様式）
- ・調査書
- ・出身学校長の推薦書（本学所定様式）
- ・志望理由書（本学所定様式）
- ・活動報告書【任意】（本学所定様式）
- ・誓約書（本学所定様式）
- ・大阪府地域医療確保修学資金貸与事業同意書（大阪府指定様式）
- ・宛名ラベル

（注）本学所定の様式は、学生募集要項公表後、大阪公立大学 Web サイトからダウンロードできる予定です。出願書類の詳細については、必ず該当する学生募集要項を確認してください。

### 3 出願についての注意

- (1) 大阪府指定医療枠特別選抜は「学校推薦型」の選抜です。
- (2) 国公立大学の学校推薦型選抜の出願は、1つの大学、学部等に限られます。
- (3) 大阪府指定医療枠特別選抜出願者は本学を含む国公立大学の一般選抜にも出願することができます。
- (4) 出願にあたっては、本学科が指定する令和7（2025）年度大学入学共通テストの教科・科目（6～7ページ）を必ず受験してください。  
受験した教科・科目数が不足している場合や、科目選択にかかる注意事項が守られていない場合は、無資格となり、個別学力検査等は受験できません。
- (5) 本学科の大阪府指定医療枠特別選抜と学校推薦型選抜及び総合型選抜の併願は認めません。

### 4 受験上・修学上の配慮について

- (1) 障がい等を理由とする受験上の配慮にかかる事前相談等  
障がいがある等で、受験上の配慮を希望する者は事前相談の手続を行ってください。
  - ア 相談の方法  
以下「ウ 申請先及び問合せ先」に連絡の上、本学所定の申請書（原則として医師の診断書等添付）を提出することとし、必要な場合は入学志願者・保護者又はその立場を代弁しうる出身学校関係者等との面談を行います。
  - イ 事前相談及び申請期間  
2024年10月7日（月）まで  
（注）上記期間以降においても可能な限り対応しますが、申請内容によっては、時間を要することがありますので、できるだけ早い時期に申し出てください。
  - ウ 申請先及び問合せ先  
裏表紙「受験上の配慮に関すること」の問合せ先に連絡してください。  
※メールには、日中連絡がつく電話番号を明記の上、問い合わせてください。
- (2) 障がい等を理由とする修学上の配慮や支援に関する相談等  
修学上の合理的配慮は、入学後の申請に基づき決定します。したがって受験上の配慮内容が必ずしも修学上の合理的配慮として認められるものではありません。  
ただし、受験前（出願前）も修学上の配慮や支援に関する相談はアクセシビリティセンターで受け付けますので、受験を検討するにあたり相談を希望する者は、裏表紙「修学上の配慮に関すること」の問合せ先に問い合わせてください。  
※メールの場合は、アクセシビリティセンターへの相談内容、希望する学部・学域等（現時点の希望で可）を記載してお問い合わせください。

<アクセシビリティセンターWeb サイト>

<https://www.omu.ac.jp/campus-life/support/disabled/>



## 〔4〕入学者選抜方法等

### 選抜方法等

大学入学共通テスト、小論文、面接、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書、活動報告書）により総合判定します。

**※ 志願者数が募集人員の5倍を超えた場合、第1次選考を実施します。その場合、出願書類（配点100点）と大学入学共通テスト（配点825点）の総合得点により第1次選考を実施し、その合格者のみが本学の個別学力検査等を受験することができます。志願者数が募集人員の5倍を超えなかった場合は、志願者全員に小論文試験・面接を実施します。**

次の者は、合格判定の対象にはなりません。

- ・令和7（2025）年度大学入学共通テストで指定した教科・科目を受験しなかった者
- ・小論文試験、面接を受験しなかった者

（注）大学入学共通テストで医学科が指定する教科・科目を1科目でも受験しなかった場合は無資格となり、個別学力検査等は受験できませんので、十分注意してください。

## 第1次選考を実施する場合

## &lt;第1次選考&gt;

試験の区分	教科	科目名	配点
大学入学共通テスト (6教科8科目)	国語	『国語』	150
	地理歴史・ 公民	『地理総合, 地理探究』、『歴史総合, 日本史探究』、『歴史総合, 世界史探究』、『公共, 倫理』、『公共, 政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共』から1科目選択(注1)	50
	数学	『数学Ⅰ, 数学A』と 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	200
	理科	『物理』、『化学』、『生物』から2科目選択	200
	外国語	『英語』(注2)	200
	情報	『情報Ⅰ』	25
	大学入学共通テストの配点合計		
個別学力検査等	出願書類		100
配点合計			925

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

(注1) 「地理歴史・公民」において、受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

「地理歴史・公民」では、『歴史総合, 世界史探究』と『歴史総合, 日本史探究』は「歴史総合」が重なっていても組み合わせで選択できますが、それ以外の同じ科目名が含まれる組み合わせは選択できません。ただし、『地理総合/歴史総合/公共』を選択した者は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同じ科目名以外の組み合わせは選択することができます。

『地理総合/歴史総合/公共』を選択する場合は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つの出題範囲から、そのうち2つを選択解答します。

(注2) 「外国語」の『英語』については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算します。

## &lt;第2次選考&gt;

試験の区分	教科	科目名	配点
大学入学共通テスト (6教科8科目)	国語	『国語』	150
	地理歴史・ 公民	『地理総合, 地理探究』、『歴史総合, 日本史探究』、『歴史総合, 世界史探究』、『公共, 倫理』、『公共, 政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共』から1科目選択(注1)	50
	数学	『数学Ⅰ, 数学A』と 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	200
	理科	『物理』、『化学』、『生物』から2科目選択	200
	外国語	『英語』(注2)	200
	情報	『情報Ⅰ』	25
	大学入学共通テストの配点合計		
個別学力検査等	出願書類		100
	小論文・面接		◎100
配点合計			1,025

- ・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。
- ・小論文と面接(◎)で合計100点の配点を設けるとともに、面接は入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)に基づき「合」「否」でも判定します。
- ・小論文と面接(◎)は、論理性、読解力、思考力、判断力、表現力を問います。面接の結果により、本学の定める基準に達しない場合、合計点にかかわらず不合格となることがあります。

(注1) 「地理歴史・公民」において、受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

「地理歴史・公民」では、『歴史総合，世界史探究』と『歴史総合，日本史探究』は「歴史総合」が重なっていても組み合わせで選択できますが、それ以外の同じ科目名が含まれる組み合わせは選択できません。ただし、『地理総合/歴史総合/公共』を選択した者は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同じ科目名以外の組み合わせは選択することができます。

『地理総合/歴史総合/公共』を選択する場合は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つの出題範囲から、そのうち2つを選択解答します。

(注2) 「外国語」の『英語』については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算します。

### 第1次選考を実施しない場合

試験の区分	教科	科目名	配点
大学入学共通テスト (6教科8科目)	国語	『国語』	150
	地理歴史・公民	『地理総合，地理探究』、『歴史総合，日本史探究』、『歴史総合，世界史探究』、『公共，倫理』、『公共，政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共』から1科目選択(注1)	50
	数学	『数学Ⅰ，数学A』と『数学Ⅱ，数学B，数学C』	200
	理科	『物理』、『化学』、『生物』から2科目選択	200
	外国語	『英語』(注2)	200
	情報	『情報Ⅰ』	25
	大学入学共通テストの配点合計		
個別学力検査等	出願書類		100
	小論文・面接		◎100
配点合計			1,025

- ・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。
- ・小論文と面接(◎)で合計100点の配点を設けるとともに、面接は入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)に基づき「合」「否」でも判定します。
- ・小論文と面接(◎)は、論理性、読解力、思考力、判断力、表現力を問います。面接の結果により、大学の定める基準に達しない場合、合計点にかかわらず不合格となることがあります。

(注1) 「地理歴史・公民」において、受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

「地理歴史・公民」では、『歴史総合，世界史探究』と『歴史総合，日本史探究』は「歴史総合」が重なっていても組み合わせで選択できますが、それ以外の同じ科目名が含まれる組み合わせは選択できません。ただし、『地理総合/歴史総合/公共』を選択した者は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同じ科目名以外の組み合わせは選択することができます。

『地理総合/歴史総合/公共』を選択する場合は、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つの出題範囲から、そのうち2つを選択解答します。

(注2) 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算します。

### 〔5〕選抜期日等(試験科目・時間割、試験会場)

第1次選考を実施した場合の合格者発表日	第2次選考選抜期日	試験会場
2025年2月7日(金) 本学Webサイト 17:00～	2025年2月9日(日) 小論文・面接 9:00～	阿倍野キャンパス

## 〔6〕2025年度入試(特別選抜)における旧教育課程履修者の経過措置について

本学特別選抜における大学入学共通テスト及び個別学力検査等の旧教育課程履修者に対する受験上の経過措置について、以下のとおりとします。

## 1 大学入学共通テストの科目単位での経過措置

地理歴史・公民、数学、情報において、次の対応表のとおり旧教育課程の出題科目の選択解答を認めます。

教科	新教育課程の出題科目	選択解答を認める 旧教育課程の出題科目	選択解答を認める 学部・学域 (学科・学類)
地理 歴史・ 公民 ※1	『地理総合，地理探究』 『歴史総合，日本史探究』 『歴史総合，世界史探究』 『公共，倫理』 『公共，政治・経済』 『地理総合／歴史総合／公共』	『旧世界史A』 『旧世界史B』 『旧日本史A』 『旧日本史B』 『旧地理A』 『旧地理B』 『旧現代社会』 『旧倫理』 『旧政治・経済』 『旧倫理、旧政治・経済』	当該科目を課す学部・学域(学科・学類)において認めます。
数 学	『数学Ⅰ』	『旧数学Ⅰ』	
	『数学Ⅰ，数学A』	『旧数学Ⅰ・旧数学A』	
	『数学Ⅱ，数学B，数学C』	『旧数学Ⅱ』※2 『旧数学Ⅱ・旧数学B』 『旧簿記・会計』※3 『旧情報関係基礎』※3	
情 報	『情報Ⅰ』	『旧情報』	

※1 新教育課程による出題科目と旧教育課程による出題科目を組み合わせて選択することはできません。

※2 看護学部<学校推薦型選抜>のみ「旧数学Ⅱ」の選択解答を認めます。

※3 「数学」の「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

なお、「旧情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しません。

総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。

注) 新教育課程履修者は、旧教育課程の出題科目を解答することはできません。

## 2 個別学力検査での「数学」の旧教育課程履修者に対する経過措置

新教育課程の科目と旧教育課程の科目の共通の範囲から出題します。

## 【注意事項】

## 新教育課程履修者と旧教育課程履修者等の定義

新教育課程履修者	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に令和4年4月に入学し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月に卒業見込みの者 ② 中等教育学校の後期課程に令和4年4月に進級し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月卒業見込みの者
旧教育課程履修者等	上記以外の者 * 高等学校等卒業生、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者、高等専修学校（文部科学大臣に指定された高等専修学校に限る。）修了者又は修了見込み者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を令和7年3月卒業見込みであるが入学は令和4年3月以前の者など上記に該当しない者

令和5年6月9日独立行政法人大学入試センター（入試セ事一第20号）「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト出題教科・科目の出題方法及び大学入学共通テスト問題作成方針について（通知）」より抜粋（令和5年7月 一部訂正/大学入試センター）

## 〔7〕合格者発表

## 1 第1次選考合格者発表について（第1次選考を実施する場合のみ）

合格者の受験番号を合格者発表日に本学 Web サイトに掲載します。

発表日時	Web サイト掲載期間
2025年2月7日（金）17:00	2025年2月7日（金）17:00～2025年2月9日（日）17:00

（注）電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

## 2 第2次選考合格者発表について

合格者の受験番号を合格者発表日に本学 Web サイトに掲載します。

発表日時	Web サイト掲載期間
2025年2月12日（水）10:00	2025年2月12日（水）10:00～2025年2月18日（火）17:00

（注）電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

## 〔8〕入学検定料及び学費（入学料・授業料）

現時点での予定は次のとおりですが、いずれも改定される場合があります。

1 入学検定料 30,000 円

2 入学料 「大阪府民及びその子」282,000 円 「その他の者」382,000 円

「大阪府民及びその子」は、次の対象者が所定の手続きを行い認定された場合に適用されます。

対象者：入学者本人又は入学者本人と同一戸籍にある父母のいずれかが、入学日の1年以上前（2025年4月入学者の場合、2024年4月1日以前）から引き続き大阪府内に住民票がある者。日本国籍を有しない者も同一の要件です。

3 授業料〔年額〕535,800 円（入学後に納付）

4 その他

(1) 各種団体等に加入していただくために別途費用が必要です。

## (2) 個人ノートパソコンの準備（必携）

授業の履修登録や成績の閲覧、その他各種連絡事項のやり取りに加え、授業についてもシステムの使用を前提とし、極力電子ファイルを用いた資料配付、課題提出を行うなど、パソコンを活用した教育・研究を進めております。新入生の皆さんは、授業が始まるまでにノートパソコンの準備をお願いします。ノートパソコンの必要スペックは、本学の Web サイトで公開しています。

※入学年度における必要スペックは、前年度の2月上旬に掲載予定です。

## (3) 医学部では、医療施設における実習に備え、医学的対応（各種感染症の抗体検査、予防接種等）が必要です。また、抗体検査、予防接種等にかかる費用は自己負担となります。なお、授業及び自己学習に使用する e-learning 教材の利用料も自己負担となります。

## (4) その他、諸費用等が必要となります。詳細は、入学書類送付時に案内します。

## 〔9〕 その他

### 1 個人情報の取扱いについて

(1) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入学共通テスト受験番号に限り、可否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先国公立大学に送達されます。

(2) 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報は、上記(1)のほか、入学者選抜の実施、入学者の受入れ準備、統計資料等の作成、個人別成績の情報提供以外には利用しませんが、入学者の試験成績は、本学における教育目的や学生生活に関連して利用する場合があります。

(3) 本学の業務を行うために、個人情報の電算処理を外部に委託する場合には、個人情報の保護に関する法律の趣旨に則った保護管理の事項を明記の上、契約します。



## 問合せ先

お問い合わせの前に、入試に関する Q&A も確認してください。

大阪公立大学 入試に関する Q&A ▶▶▶

[https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam\\_info/qa/](https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/qa/)



事 項	電話番号／E-mail	問 合 せ 先
入試に関すること	06-6645-3611 gr-a-gakumu-med@omu.ac.jp	医学部学務課事務室(医学科) (阿倍野キャンパス)
受験上の配慮に関すること	06-6605-2141 gr-nyu-ask2@omu.ac.jp	入試課 (杉本キャンパス)
修学上の配慮に関すること	06-6605-3650 gr-gks-ac@omu.ac.jp	アクセシビリティセンター (杉本キャンパス)

受付日時：月～金曜日（祝日及び休業日を除く） 9:00～17:00

## Web サイト

最新の情報は、Web サイトから確認してください。

大阪公立大学 入試情報サイト

<https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/>

